

EVENTS

多様なテーマを投げかける 関連イベントを連日開催。

3/8
(火)



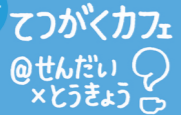
「3+1」キックオフイベント～話そう、6年目の選択～
(3.11映画祭プレトーク)

19:00～21:00 (18:30開場) 会場:コミュニティスペース
参加料:1,500円 ※前売りあり

原発、地域格差、米軍基地、貧困、差別など多くの矛盾を抱えたまま、311以前も311以降の今も、現状は変わっていないどころか慢性化しつつある日本の状況に、映画を通じて警告を鳴らす3人の監督がタッグを組みました。一人ひとりの問題意識【+1】を持ち集う場がここからはじまります。

●出演:鎌仲ひとみ(『小さき声のカノン』)、船橋淳(『フタバから遠く離れて』)、河合弘之(『日本と原発』、特別ゲスト)

3/14
(月)



シネマてつがくカフェ@せんだい
×とうきょう in 3.11映画祭

18:00～21:30 (17:30開場)
会場:1Fラウンジ
参加料:1,500円 ※前売りあり

小森はるか+瀬尾夏美作品『波のした、土のうえ』を鑑賞後、参加者の感想のもとに「テーマ」を探り当て、(対話)を深めます。他者との(対話)のなかで編み上げられていく思考の愉しさを、あなたもぜひ体験してみませんか?

●上映作品『波のした、土のうえ』
●主催:てつがくカフェ@せんだい×とうきょう

3/12(土)
～13(日)
*1日



アーバンキャンプトーキョー vol.3
in アーツ千代田 3331

会場:屋上
参加料:大人(中学生以上) 1,500円、
小学生以下 500円 ※予約制

都市を楽しむための新しい形を提案する「アーバンキャンプトーキョー」。まちに泊まり、まちの魅力を楽しみつくす、かつてない体験「アーバンキャンプ vol.3」を3331屋上で開催!

●主催:アーバンキャンプトーキョー実行委員会

3/13
(日)



ミニ太陽光発電システム
組立てワークショップ

11:00～16:00 会場:1Fラウンジ
参加費:43,500円(組立キット付)
1,300円(見学) ※予約制

自然や里山の資源を見直し、自立分散型の自然エネルギーを地域で取り組む藤野電力によるワークショップ。電気のことにはちょっと苦手という方でも3～4時間ほどの作業で完成できます。

●講師:小田嶋電哲(藤野電力)

3/13
(日)



マーケット「わわや×三三三市」

10:30～17:00
会場:コミュニティスペース
入場無料

アーツ千代田 3331によるマーケット「三三三市」とわわプロジェクトによる、この日限りのマーケットイベント。映画祭関連グッズ、東日本大震災復興支援に関連した商品や加工食品などを販売展示、東北を中心にさまざまな団体が集合します。

3/10
(木)



green drinks tokyo@3331

19:00～21:30
会場:1Fラウンジ
参加費:2,000円(軽食&1ドリンク付)

世界500都市以上で開催されているgreen drinksと、3.11映画祭によるコラボ企画。年齢や職業の垣根を越え、人との思いをつなげる“出会いの場”でアイデアをつなげよう。

●主催:NPO法人グリーンズ

3/13
(日)



the LOW-ATUS × ISEPエネルギーデモクラシー
トーク&ライブ

16:00～18:00 (15:00開場) 会場:2F体育館 参加料:1,500円 ※前売りあり

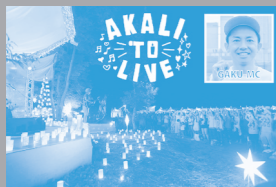
地域の人々を中心に進める自然エネルギー「コミュニティパワー」、この国際的なムーブメントをテーマに、映画『日本と自然エネルギー』をプロデュースする飯田哲也、福島からエネルギー革命を進める佐藤彌右衛門、精力的に東北で支援活動続けるthe LOW-ATUS (細美武士&TOSHI-LOW)の4人が集結!

●主催:ISEP

●出演:the LOW-ATUS、佐藤彌右衛門(会津電力)、飯田哲也(ISEP)

※本イベントは独立行政法人環境再生保全機構
地球環境基金の助成を受けて開催します

3/11
(金)



アカリライブ

20:30～21:00 (20:00開場) 会場:コミュニティスペース 参加料:無料

2011.3.11以降、継続して開催を続ける「アカリライブ」は、ラッパー・ガクエムシーが中心となって行っている日本復興音楽イベント。3.11の夜、キャンドルの灯りに包まれながらライブを行います。

●主催:アカリライブ実行委員会

●出演:GAKU-MC

映画を通じて全国がつながる 未来の選択肢を共有する上映プロジェクト



本映画祭は、3.11という未曾有の出来事をキーワードに、さまざまなテーマや問題を投げかける映画作品を媒体に、全国有志の上映会や劇場をつなぎ、より大きな社会へのアクションとなることを目指す活動です。個人、団体、企業さまざまな層の人たちが自分たちなりの手段で参加し、映画を通じた場作りの輪が広がっています。

全国20箇所以上の
サテライト会場で同時開催!

全国の団体、企業などが連携参加します
開催地域:北海道/福島/愛知/岐阜/大阪/神戸/
広島/鳥根/徳島/福岡など

自主上映連携団体募集中 <わわくはウェブへ

TSUTAYA、ゲオなど全国のビデオレンタル店で
「3.11コーナー」店頭展開中!

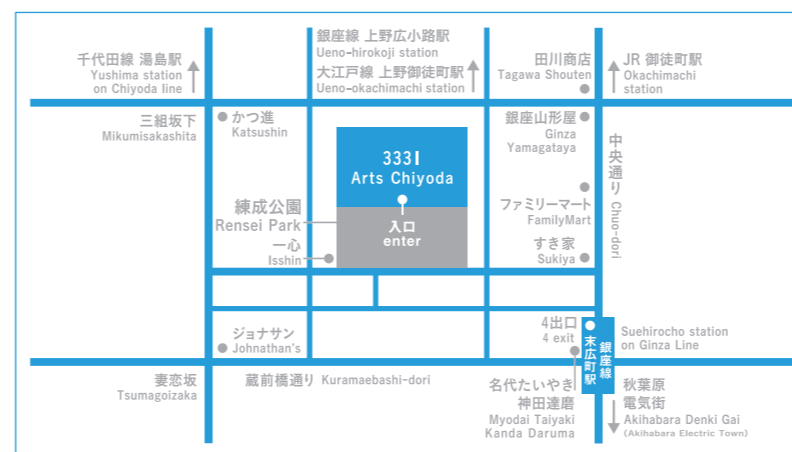
SHIBUYA TSUTAYAほか、関東圏14店舗で先行展開中
展開店舗:SHIBUYA TSUTAYA/TSUTAYA瑞江店/TSUTAYA東陽町店/
TSUTAYA柏駅前店/TSUTAYA松戸駅前店/TSUTAYA川崎駅前店/
ゲオ北新宿店/ゲオ野川店/ゲオ市ヶ尾店/ゲオ今宿店/ゲオ湘南台店/
ドラマ下北沢PART8店/ビデオ1京王リトナード八幡山店/フタバ図書 GIGA大宮店

ACCESS

アーツ千代田3331
3331 Arts Chiyoda

〒101-0021
東京都千代田区外神田6丁目11-14
TEL:03-6803-2441(代)

東京メトロ銀座線末広町駅4番出口より徒歩1分、
東京メトロ千代田線湯島駅6番出口より徒歩3分、
都営大江戸線上野御徒町駅A1番出口より徒歩6分、
JR御徒町駅南口より徒歩7分、
JR秋葉原駅電気街口より徒歩8分



TICKET

●上映:アフタートークあり 1,500円、なし 1,000円

●各回前売り券あり(peatixにて2月中旬発売開始予定)

●上映当日券は各回上映開始の1時間前(初回は開始15分前)
より受付にて販売開始します

INFORMATION

<http://311movie.wawa.or.jp>

<https://www.facebook.com/WaWaProject>

<https://twitter.com/WaWaProject>

お問い合わせ:一般社団法人非営利芸術活動団体コマンドN
TEL:03-3518-9101 info@wawa.or.jp

【主催】わわプロジェクト(事務局:一般社団法人非営利芸術活動団体コマンドN)
/共催:日本コンパクトディスク・ビデオレンタル商業組合/協賛:中外製薬
株式会社/助成:芸術文化振興基金/後援:復興庁、千代田区、千代田区観光
協会/協力:アーツ千代田 3331、株式会社キネマ旬報社、アカリライブ実行
委員会、大地を守る会、100万人のキャンドルナイト、アーバンキャンプトーキョー
実行委員会、認定NPO法人環境エネルギー政策研究所、てつがくカフェ
@せんだい×とうきょう、NPO法人グリーンズ、ストリートメディア株式会社



芸術文化振興基金助成事業

Roche ロシュグループ

第三回 3.11 映画祭
3.11 FILM FESTIVAL

2016.3.11[金]～14[月] 会場:アーツ千代田 3331

MOVIES

3.11から未来を問う。 16作品一挙公開。

3.11 FRI	06	09:30	春よこい ～熊と蜂蜜とアキオさん～(65分)	トーク	09	11:40	広河隆一 人間の戦場(98分)	トーク	02	15:10	人の望みの喜びよ(85分)	01	17:00	さようなら(112分)	トーク
12 SAT	13	09:30	日本と原発 4年後(138分)	関連イベント	10	12:15	抱く{HUG}(69分)	トーク	03	14:30	正しく生きる(108分)	07	17:15	首相官邸の前で(109分)	トーク
13 SUN	05	10:00	水と風と生きものと 中村桂子・生命誌を紡ぐ(119分)	トーク	04	13:30	うみやまあひだ 伊勢神宮の森から響くメッセージ(79分)	トーク	14	16:00	小さき声のカノン 一選択する人々(119分)	16	18:30	パワー・トゥ・ザ・ピープル ～グローバルからローカルへ～(49分)	関連イベント
14 MON	15	10:00	フタバから遠く離れて 2016 総集編(180分)	関連イベント	08	13:30	新地町の漁師たち(93分)	トーク	12	16:00	種まきうさぎ フクシマに向き合う青春(87分)	11	18:00	波のした、土のうえ(67分)	関連イベント
												04	19:00	うみやまあひだ 伊勢神宮の森から響くメッセージ(79分)	トーク

SCHEDULE

CATEGORY 1
物語と3.11。
「あの日」からの
世界は。

さようなら

監督:深田晃司/2015年/112分

日本を代表する劇作家・平田オリザとロボット研究の世界的な第一人者である石黒浩による世界が注目するアンドロイド演劇を、気鋭の映画作家・深田晃司監督が映画化。舞台は放射能に侵された近未来の日本。汚染された世界に生きる、死にゆく女と死を知らぬアンドロイド。二人が寄り添い過ごす静寂な時間が、人間にとって、アンドロイドにとって、“生”とは、そして“死”とは何かを鋭く問いかける。



トーク 平田オリザ(劇作家)
×深田晃司(監督)

01



人の望みの喜びよ

監督:杉田真一/2014年/85分

震災で両親を失った姉と弟の「その後」を丁寧に描いたかすかな光の物語。14歳の時に阪神淡路大震災に遭った杉田監督による長編デビュー作。第64回ベルリン国際映画祭 ジェネレーション部門 スペシャルメンション受賞、Best First Feature Award 2014 新人監督賞ノミネート。



正しく生きる

監督:福岡芳穂/2015年/108分

“とある大きな災害”をきっかけに、様々な事情を抱えたまま“愛”を求め疾走し始める人々。その姿を浮き彫りにしながら、漠然とした不安な時代である“現在”に「正しく生きる」とは何かを問いかける。大学生とプロによる「北白川派映画運動」の第5作。

トーク 福岡芳穂(監督)

03



水と風と生きものと 中村桂子・生命誌を紡ぐ

監督:藤原道夫/2015年/119分

生命誌を提唱する科学者・中村桂子の活動と哲学を追ったドキュメンタリー。大阪、東京、東北をめぐる、自然に目を向けながら生きる様々な人々と語り合うとともに、3.11以降に宮沢賢治を読み直し決意した「生命誌版 セロ弾きのゴージュ」の舞台の本番までを追う。

トーク 中村桂子(生命誌研究者)
×関野吉晴(探検家・医師)

CATEGORY 2
文明、生命から
3.11を問う。



うみやまあひだ 伊勢神宮の森から響く メッセージ

監督:宮澤正明/2014年/79分

10年に渡り伊勢神宮を撮り続けてきた写真家・宮澤正明が、森と海と共に生を続けてきた日本人の心を探る旅の記録。北野武や隈研吾ほか、伊勢神宮神職や世界的科学者らさまざまな分野の人々へのインタビューを通し、現代の日本人が失いつつある森と共に生きる記憶を浮かび上がらせる。2015年マドリード国際映画祭・外国語ドキュメンタリー部門最優秀作品賞受賞。2015年シエフィールド国際ドキュメンタリー映画祭・環境賞ノミネート。

トーク 13日:畠山重篤(養殖漁業家)
14日:宮澤正明(監督)

04



新地町の漁師たち

監督:山田 徹/2016年/93分

津波と原発事故によって生業としてきた漁業を自棄せざるをえなくなった福島県新地町の漁師たちの3年半に密着したドキュメンタリー。単純な復興とはいかない環境下で漁師たちは何に苦しみ、何を考えどう活動していくのか。主体を超え「我々の復興」を問う。

トーク 山田 徹(監督)

首相官邸の前で

監督:小熊英二/2015年/109分

著作で数々の賞をうけた歴史社会学者の小熊英二、初の映像監督作品。2012年夏、約20万人の人びとが首相官邸前を埋めた。しかしこの運動は、その全貌が報道されることも、世界に知られることもなかった。3.11以前は、まったく別々の立場にいた8人が、危機として変転を経てやがて一つの場につどう。彼らに唯一共通していた言葉は「脱原発」と「民主主義の危機」だった。

トーク 小田マサノリ(現代美術家)
×香山リカ(精神科医)

07



広河隆一 人間の戦場

監督:長谷川三郎/2015年/98分

「ニッポンの嘘 報道写真家 福島菊次郎90歳」の長谷川三郎監督がフォトジャーナリスト広河隆一の軌跡を追ったドキュメンタリー。パレスチナ、チェルノブイリ、福島、沖縄へと取材・救援活動を続ける広河の原点を見つめ、現在の活動に密着する。

トーク 長谷川三郎(監督)

09

CATEGORY 3
3.11と分岐点。
人びとの記憶・
記録・行動。



抱く{HUG}

監督:海南友子/2014年/69分

新しい命と強く美しい母の愛が生まれる瞬間を捉えた感動のドキュメンタリー。監督は環境問題や逆境に生きる人々に焦点を置いた作品を発表してきた海南友子。震災直後に原発近くで取材を行っていた矢先に妊娠が発覚、初めて自身にカメラを向けた。

トーク 海南友子(監督)

10



春よこい ～熊と蜂蜜とアキオさん～

監督:安孫子 亘/2015年/65分

福島県の奥会津・金山町の自然とともに生きるマタギ・猪俣昭夫の暮らしを描いたドキュメンタリー。山の神を崇拝し、山のおきてに従い熊を追う。自然とは何か、自然を保つためには何が大切か、人と自然が共に暮らすための術・奥会津に伝わるマタギの精神を氏はいま伝えている。

トーク 安孫子 亘(監督)

06



波のした、土のうえ

監督:小森はるか+瀬尾夏美/2014年/67分

作家・小森はるか瀬尾夏美が、津波を受けた沿岸の町「陸前高田」で出会った人びとのインタビューを元に、被写体本人と共に物語を起すように作り上げた映像作品。3.11から3年8ヶ月の記録がまじりの風景と言葉(朗読)によって紡ぎだされる。

関連イベント 3/14 シネマでつがカフェ

11



種まきうさぎ フクシマに向き合う青春

監督:森 康行/2015年/87分

2011年、原発事故の被災地・福島の高校生たちが東日本大震災と福島の影響を見て欲しいと全国の高校生・若者に呼びかけた。ピキニ誌島の調査学習、マッシュルでの出会い、福島の高校生たちの大地・海への想い―核の時代に生きる若者たちのいまを描く。

12



小さき声のカノン 一選択する人々

監督:鎌仲ひとみ/2014年/119分

『ミツバチの羽音と地球の回転』の鎌仲ひとみ監督最新作。福島とチェルノブイリ原発事故後の世界を生きた人々、希望を選んだ母たちの新たなステージを映すドキュメンタリー。子供たちの未来を守ろうとする母たちのしなやかさ・強さそして揺らぎを映し出す。

関連イベント 3/8 話そう、6年目の選択

14

CATEGORY 4
原発事故から5年。
私たちの
今とこれから。



フタバから遠く離れて 2016 総集編

監督:松橋 淳/2016年/180分

福島第一原発事故により避難を強いられた、福島県双葉町を追ったドキュメンタリー。パート1、2に新たな素材を加えた、避難生活5年間を総括した特別編。帰宅困難区域に指定され、さらには中間貯蔵施設が建設されるなど、事故に起因する様々な問題が大きな影を落としていく双葉町。長い避難生活を強いられる町民の、報道では伝わらない声突き刺さる。

関連イベント 3/8 話そう、6年目の選択

15



パワー・トゥ・ザ・ピープル ～グローバルからローカルへ～

監督:サビーヌ・ルッペ・バックナー/2012年/49分

10年かけ100%クリーンエネルギーを実現したデンマークのサム島のチャレンジを紹介するドキュメンタリー。コミュニティパワーで新しい社会システムへ移行し、イキイキと暮らす人々の姿が3.11以降の日本で生きる私たちに勇気や力を与えてくれる。

関連イベント 3/13 エネルギーデモクラシー
トーク&ライブ

16

GUEST

豪華ゲスト多数登場!

アフタートークや関連イベントでは、映画監督、出演者を中心に20名以上のゲストが出演します!



平田オリザ
(劇作家)



中村桂子
(生命誌研究者)



関野吉晴
(冒険家・医師)



畠山重篤
(養殖漁業家)



飯田哲也
(エネルギー革命家)



鎌仲ひとみ
(映画監督)



松橋 淳
(映画監督)